

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】令和5年5月2日(2023.5.2)

【国際公開番号】WO2022/249797

【出願番号】特願2022-547077(P2022-547077)

【国際特許分類】

C 21 C 7/064(2006.01)

C 21 C 7/06(2006.01)

C 21 C 7/072(2006.01)

10

【F I】

C 21 C 7/064 A

C 21 C 7/06

C 21 C 7/072

【手続補正書】

【提出日】令和4年8月2日(2022.8.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

容器に保持された溶鉄に、水素ガスもしくは炭化水素ガスまたはそれらの混合ガスを吹込みつつ、造滓材と酸素源を供給して前記溶鉄の脱りん処理を行い脱りん後溶鉄を得、該脱りん処理後に前記脱りん後溶鉄の表面上に浮遊するスラグを該脱りん後溶鉄から分離することを含み、

任意選択的に、前記スラグを分離した後、前記脱りん後溶鉄を脱酸剤で脱酸する、溶鉄の脱りん方法。

30

【請求項2】

前記溶鉄は、前記脱りん処理前の炭素含有量が0.5質量%以下であること、および、冷鉄源を溶解して得たものであること、のいずれか一方または両方である、請求項1に記載の溶鉄の脱りん方法。

【請求項3】

前記冷鉄源が還元鉄を含む、請求項2に記載の溶鉄の脱りん方法。

【請求項4】

前記容器が取鍋である、請求項1ないし3のいずれか1項に記載の溶鉄の脱りん方法。

【請求項5】

前記脱りん処理の前に、冷鉄源を溶解炉で溶解して溶鉄を得、該溶鉄を前記溶解炉より前記容器に出湯するにあたり、生成したスラグを出湯前に前記溶鉄から分離すること、および、前記容器に前記溶鉄と共に流入したスラグを該溶鉄から分離すること、のいずれか一方または両方を行う、請求項1ないし3のいずれか1項に記載の溶鉄の脱りん方法。

40

【請求項6】

前記脱りん処理の前に、冷鉄源を溶解炉で溶解して溶鉄を得、該溶鉄を前記溶解炉より前記容器に出湯するにあたり、生成したスラグを出湯前に前記溶鉄から分離すること、および、前記容器に前記溶鉄と共に流入したスラグを該溶鉄から分離すること、のいずれか一方または両方を行う、請求項4に記載の溶鉄の脱りん方法。

50